

## 緑の担い手

# 緑の雇用研修を受講して

FIT JAPAN 合同会社

藤田大夢

私は、大子清流高校の森林科学科から東京農業大学に進学し、卒業後は静岡県内の森林組合に就職して事務を担当していましたが、林業の現場で造林や素材生産などの作業をしたいと思い、改めて大子町にある今の会社に入社しました。

私の今の仕事は、伐倒や造材、搬出作業などです。前職では現場作業をしたことがないため、体力的にも続けられるのか不安でしたが、親切な先輩や仲間達に恵まれたお陰で、充実した毎日を過ごしています。

現在、私は緑の雇用研修の3年目を終えようとしています。これまでの研修を振り返ってみると、座学や現場での実習、建設機械の技能講習など、様々なことを学ばせて頂きましたが、共通することは「生産性や作業効率よりも優先すべきは安全性」ということです。

林業という仕事は、一歩間違えれば

重大な事故につながり、その際、自分だけでなく仲間も巻き込む可能性がありますが。そのような事故を起こさないためにも、作業時の合図や周囲の確認などを怠らないように普段から特に意識して作業をしています。

研修を通して、県内各事業体に所属する講師の方々に森林・林業作業の知識、技術等を基礎から教えて頂きましたが、皆それぞれの仕事に対する考え方をお持ちで、とても勉強になりました。また、私の会社では同期入社がいなかったのですが、一緒に研修を受けた仲間達との横のつながりが出来、切磋琢磨することが出来たと感じます。

今後、この研修を通して得られた知識や技術を活かし、多くの経験を積み、安心して仕事を任せて頂けるよう日々精進して参ります。

